

当事者・保護者コミュニケーション 事例②：医師の立場編

2023年度 予防接種基礎講座
2023/8/25 東京都

田中 敏博

静岡厚生病院 小児科



事例②-1

- あなたは小児科医です。小児科のクリニックを地元で長年開業しています。
- かかりつけの患児であるA君(5歳、喘息既往あり、最終アタックは3歳で現在はコントロール良好、定期受診にてフォロー中)の母親から、新型コロナウイルスワクチンについて相談を受けました。
- A君は定期接種をあなたのクリニックで受けており、A君の母親のワクチンに対して受け入れは良好です。
- 母親は、A君に喘息の既往があるため、できれば新型コロナウイルスワクチンを打たせたいと考えています。しかしながら、A君と同じ幼稚園に通園している園児の母親の一人(Bさん)が、「新型コロナウイルスワクチンを打たせるなんて信じられない」と言い、新型コロナウイルスに関してネガティブな意見を吹聴しており、A君に新型コロナウイルスワクチンを打つ決断がずっと困っているとのことでした。
- Bさんは、その幼稚園に通う園児の母親のグループの中では中心的な存在だそうです。

事例②ー2

- 既に新型コロナウイルスワクチンを子どもに打たせた別の母親は、明らかに他の園児の母親から疎外されており、その影響からかその園児も他の園児から疎外されているように見えるとのことでした。
- また、同じ幼稚園に通園している園児の母親が加入しているグループのSNSでは、Bさんが、新型コロナウイルスワクチンがいかに悪いかという記事や動画を、たくさん共有しているそうです。
- A君の母親は、「この子(A君)のためにはコロナのワクチンを打った方がいい気はしているんです、でも打ったらこの子がいじめられちゃうんじゃないかって不安で。あとBさんが上げる動画も嘘だってわかってても、なんとなくワクチンは悪いものなんじゃないかと思う気持ちも出てきてしまって。どうしていいかわからないんです。先生、どうしたらいいでしょうか？」と、とても不安げな表情であなたに質問をされました。

予防接種基礎講座

当事者・保護者コミュニケーション

背景

- 日本感染症学会でワクチン接種におけるコミュニケーションガイドンスが2021年12月13日に公開され、その中で双方向コミュニケーションが重要視されている。双方向コミュニケーションは『コミュニケーションとは一方通行ではなく、医療従事者と被接種者が語りを通じてお互いを受容することです。接種を迷っている方の話を聴き、医療従事者から説明するだけではなくそれについてさらに話を進めることによって真のコミュニケーションが成立します。』と明記されている。また今回のCOVID-19パンデミックでコミュニケーションの重要性が示唆されており、医療機関においても「実際にワクチン接種を行う医師が、ワクチンで予防できる疾患とワクチンの効果、起こり得る副反応の3点をバランスよく説明することが欠かせない」と中山氏。ワクチンは一般的に、接種が進んで対象疾患の患者数が少なくなると、自分が接種したことによる予防効果が分かりづらいというジレンマを抱える。そのため、「予防接種の必要性をあまり感じていない患者に対して『病気が少ないのはみんなが予防接種をして予防しているからで、自分自身と周りを守る上で予防接種の意義は大きい』と、その効果について伝える必要がある」との意見がきかれています。
- ワクチン接種の問診で直接かかわる医師はもちろんのこと、そこに関わるコメディカルも同様にワクチンについて質問を受けることは多々ある。多々資料はあるが、あくまでポイントのみが書かれており、そのような状況下で具体的にどのようにコミュニケーションをとるのか、正解はないのが現実である。

予防接種基礎講座

当事者・保護者コミュニケーション

背景

- 日本感染症学会でワクチン接種におけるコミュニケーションガイドンスが2021年12月13日に公開され、その中で双方向コミュニケーションが重要視されている。双方向コミュニケーションは『コミュニケーションとは一方通行ではなく、医療従事者と被接種者が語りを通じてお互いを受容することです。接種を迷っている方の話を聴き、医療従事者から説明するだけでなくそれについてさらに話を進めることによって真のコミュニケーションが成立します。』と明記されている。また今回のCOVID-19パンデミックでコミュニケーションの重要性が示唆されており、医療機関においても「実際にワクチン接種を行う医師が、ワクチンで予防できる疾患とワクチンの効果、起こり得る副反応の3点をバランスよく説明することが欠かせない」と中山氏。ワクチンは一般的に、接種が進んで対象疾患の患者数が少なくなると、自分が接種したことによる予防効果が分かりづらいというジレンマを抱える。そのため、「予防接種の必要性をあまり感じていない患者に対して『病気が少ないのはみんなが予防接種をして予防しているからで、自分自身と周りを守る上で予防接種の意義は大きい』と、その効果について伝える必要がある」との意見がきかれている。
- ワクチン接種の問診で直接かかわる医師はもちろんのこと、そこに関わるコメディカルも同様にワクチンについて質問を受けることは多々ある。多々資料はあるが、あくまでポイントのみが書かれており、そのような状況下で具体的にどのようにコミュニケーションをとるのか、正解はないのが現実である。

予防接種基礎講座

当事者・保護者コミュニケーション

背景

- 日本感染症学会でワクチン接種におけるコミュニケーションガイドンスが2021年12月13日に公開され、その中で双方向コミュニケーションが重要視されている。双方向コミュニケーションは『コミュニケーションとは一方通行ではなく、医療従事者と被接種者が語りを通じてお互いを受容することです。接種を迷っている方の話を聴き、医療従事者から説明するだけでなくそれについてさらに話を進めることによって真のコミュニケーションが成立します。』と明記されている。また今回のCOVID-19パンデミックでコミュニケーションの重要性が示唆されており、医療機関においても「実際にワクチン接種を行う医師が、ワクチンで予防できる疾患とワクチンの効果、起こり得る副反応の3点をバランスよく説明することが欠かせない」と中山氏。ワクチンは一般的に、接種が進んで対象疾患の患者数が少なくなると、自分が接種したことによる予防効果が分かりづらいというジレンマを抱える。そのため、「予防接種の必要性をあまり感じていない患者に対して『病気が少ないのはみんなが予防接種をして予防しているからで、自分自身と周りを守る上で予防接種の意義は大きい』と、その効果について伝える必要がある」との意見がきかれている。
- ワクチン接種の問診で直接かかわる医師はもちろんのこと、そこに関わるコメディカルも同様にワクチンについて質問を受けることは多々ある。多々資料はあるが、あくまでポイントのみが書かれており、そのような状況下で具体的にどのようにコミュニケーションをとるのか、正解はないのが現実である。

予防接種基礎講座

当事者・保護者コミュニケーション

背景

- 日本感染症学会でワクチン接種におけるコミュニケーションガイドンスが2021年12月13日に公開され、その中で双方向コミュニケーションが重要視されている。双方向コミュニケーションは『コミュニケーションとは一方通行ではなく、医療従事者と被接種者が語りを通じてお互いを受容することです。接種を迷っている方の話を聴き、医療従事者から説明するだけでなくそれについてさらに話を進めることによって真のコミュニケーションが成立します。』と明記されている。また今回のCOVID-19パンデミックでコミュニケーションの重要性が示唆されており、医療機関においても「実際にワクチン接種を行う医師が、ワクチンで予防できる疾患とワクチンの効果、起こり得る副反応の3点をバランスよく説明することが欠かせない」と中山氏。ワクチンは一般的に、接種が進んで対象疾患の患者数が少なくなくなるほど、自分が接種したことによる予防効果が分かりづらいというジレンマを抱える。そのため、「予防接種の必要性をあまり感じていない患者に対して『病気が少ないのはみんなが予防接種をして予防しているからで、自分自身と周りを守る上で予防接種の意義は大きい』と、その効果について伝える必要がある」との意見がきかれています。
- ワクチン接種の問診で直接かかわる医師はもちろんのこと、そこに関わるコメディカルも同様にワクチンについて質問を受けることは多々ある。多々資料はあるが、あくまでポイントのみが書かれており、そのような状況下で具体的にどのようにコミュニケーションをとるのか、正解はないのが現実である。

予防接種基礎講座

当事者・保護者コミュニケーション

背景

- 日本感染症学会でワクチン接種におけるコミュニケーションガイドンスが2021年12月13日に公開され、その中で双方向コミュニケーションが重要視されている。双方向コミュニケーションは『コミュニケーションとは一方通行ではなく、医療従事者と被接種者が語りを通じてお互いを受容することです。接種を迷っている方の話を聴き、医療従事者から説明するだけでなくそれについてさらに話を進めることによって真のコミュニケーションが成立します。』と明記されている。また今回のCOVID-19パンデミックでコミュニケーションの重要性が示唆されており、医療機関においても「実際にワクチン接種を行う医師が、ワクチンで予防できる疾患とワクチンの効果、起こり得る副反応の3点をバランスよく説明することが欠かせない」と中山氏。ワクチンは一般的に、接種が進んで対象疾患の患者数が少なくなると、自分が接種したことによる予防効果が分かりづらいというジレンマを抱える。そのため、「予防接種の必要性をあまり感じていない患者に対して『病気が少ないのはみんなで予防接種をして予防しているからで、自分自身と周りを守る上で予防接種の意義は大きい』と、その効果について伝える必要がある」との意見がきかれている。
- ワクチン接種の問診で直接かかわる医師はもちろんのこと、そこに関わるコメディカルも同様にワクチンについて質問を受けることは多々ある。多々資料はあるが、あくまでポイントのみが書かれており、そのような状況下で具体的にどのようにコミュニケーションをとるのか、**正解はないのが現実**である。

ワクチンを渴望する



「ファイザーのワクチン、日本に到着」(日経新聞 2021/2/12)

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQODG1222B0S1A210C2000000/>



「ポリオに抗して」より

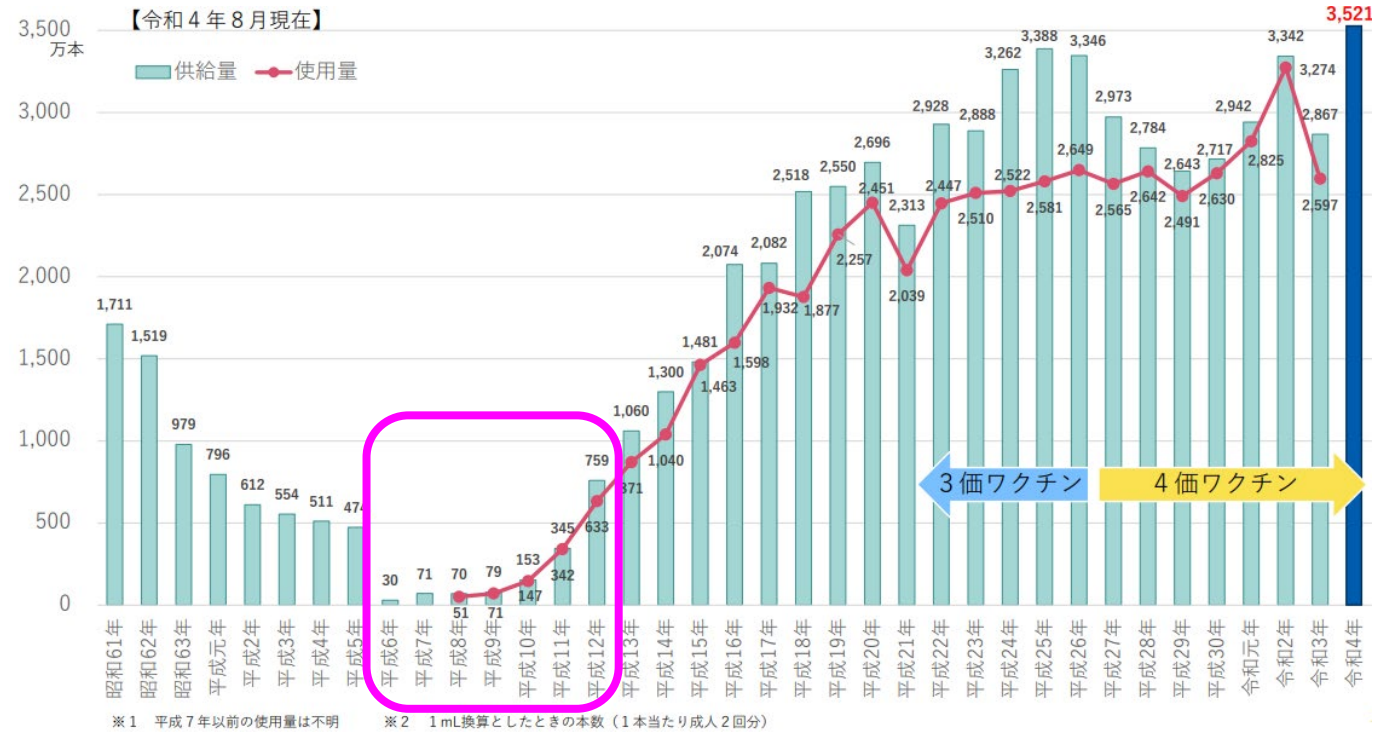


https://www.jpma.or.jp/about_medicine/guide/med_qa/q44.html



ワクチンを渴望する：私の場合...

2000-2005 水戸協同病院時代



第30回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会研究開発及び生産・流通部会 資料1
<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/000982566.pdf>

一人だけの小児科医として

予防接種

ワクチン(道具、手段)



安全に接種する(過程、道のり)



接種した本人および集団・地域を
感染症から守る(目的)

なぜ予防接種をするのか？！

現在の状況の把握： 状況を整理し、問題点を明確化する①

■ 小児科医、小児科のクリニックを長年開業

⇒ 地域における医師の信頼性

■ かかりつけの患児であるA君：5歳、喘息既往あり、最終アタックは3歳で現在はコントロール良好、定期受診にてフォロー中

⇒ 医師と患児/保護者の関係性、患児本人やご家族の背景を把握

■ A君の母親から相談：できれば新型コロナワクチンを打たせたい、しかし...

⇒ 困っている、悩んでいる、思いはあるが決めきれずにいる

■ 同じ幼稚園のBさん：「新型コロナワクチンを打たせるなんて信じられない」

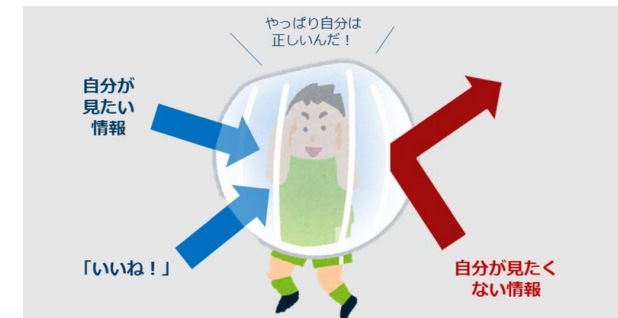
⇒ 医学的？ 科学的？ 社会的？？

現在の状況の把握： 状況を整理し、問題点を明確化する②

- 接種した別の母親と園児は、明らかに他の母親から疎外、園児も疎外されているよう
⇒ 医学的なトピックが社会的な攻撃に転化/先鋭化
- 園の母親のSNSでは、Bさんが、新型コロナワクチンがいかに悪いかという記事や動画を、たくさん共有
⇒ SNSの活用(悪用?)による情報操作、同調圧力
- A君の母親：ワクチン接種と園における周囲との関係性、二重に葛藤
⇒ 優先順位？ どちらも大切
- とても不安げな表情であなたに質問
⇒ 医師と患児/保護者の関係性だからこそその意見、見解の期待

どのようなことを他に情報収集すべきですか： これからのアクションに必要な情報を得る

- ワクチン
 - ✓ 安全性
 - ✓ 有効性
- 園の内外での情報の整理
- 考え方や立場の把握
- どうしたいか、どうすべきか？
 - ✓ 母親、保護者、児
 - ✓ 医師、医療関係者



note 浜田努 より <https://note.com/hamad/n/n1bc0c87ba17c>

これからどのようなアクションができますか

A君の母親として...

- 接種を断念する
- ワクチンの情報と周囲の状況を見ながら、もう少し模様眺めをする
- 接種をするが、周囲には「接種はしない/していない」と説明する

医師/医療関係者として

- 相談をお断りする
- 短時間でドライに対応する
- A君の母親が決心するまで根気よく説得を続ける
- A君の母親が納得するまで根気よく話を聴き、アドバイスをする

この事例から学べること(私見)

■ かかりつけ医/医療機関の責任と役割

⇒ 困った時、悩んだ時に、患児/保護者は普段からの関係性を重視し、頼りたい

⇒ 自分は我が子にどうしたいか、どうしてあげたいか
最優先されるべきであるところ

⇒ 時に、そうばかりとは言えない状況もあり得る

⇒ 決定する手伝い>>理解する/納得する補助

■ 同調圧力

⇒ 「赤信号、みんなで...」

予防接種基礎講座

当事者・保護者コミュニケーション

背景

- 日本感染症学会でワクチン接種におけるコミュニケーションガイドンスが2021年12月13日に公開され、その中で双方向コミュニケーションが重要視されている。双方向コミュニケーションは『コミュニケーションとは一方通行ではなく、医療従事者と被接種者が語りを通じてお互いを受容することです。接種を迷っている方の話を聴き、医療従事者から説明するだけではなくそれについてさらに話を進めることによって真のコミュニケーションが成立します。』と明記されている。また今回のCOVID-19パンデミックでコミュニケーションの重要性が示唆されており、医療機関においても「実際にワクチン接種を行う医師が、ワクチンで予防できる疾患とワクチンの効果、起こり得る副反応の3点をバランスよく説明することが欠かせない」と中山氏。ワクチンは一般的に、接種が進んで対象疾患の患者数が少なくなると、自分が接種したことによる予防効果が分かりづらいというジレンマを抱える。そのため、「予防接種の必要性をあまり感じていない患者に対して『病気が少ないのはみんなが予防接種をして予防しているからで、自分自身と周りを守る上で予防接種の意義は大きい』と、その効果について伝える必要がある」との意見がきかれている。
- ワクチン接種の問診で直接かかわる医師はもちろんのこと、そこに関わるコメディカルも同様にワクチンについて質問を受けることは多々ある。多々資料はあるが、あくまでポイントのみが書かれており、そのような状況下で具体的にどのようにコミュニケーションをとるのか、正解はないのが現実である。

予防接種基礎講座

当事者・保護者コミュニケーション

背景

- 日本感染症学会でワクチン接種におけるコミュニケーションガイドランスが2021年12月13日に公開され、その中で双方向コミュニケーションが重要視されている。双方向コミュニケーションは『コミュニケーションとは一方通行ではなく、医療従事者と被接種者が語りを通じてお互いを受容することです。接種を迷っている方の話を聴き、医療従事者から説明するだけではなくそれについてさらに話を進めることによって真のコミュニケーションが成立します。』と明記されている。また今回のCOVID-19パンデミックでコミュニケーションの重要性が示唆されており、医療機関においても「実際にワクチン接種を行う医師が、ワクチンで予防できる疾患とワクチンの効果、起こり得る副反応の3点をバランスよく説明することが欠かせない」と中山氏。ワクチンは一般的に、接種が進んで対象疾患の患者数が少なくなくなるほど、自分が接種したことによる予防効果が分かりづらいというジレンマを抱える。そのため、「**予防接種の必要性をあまり感じていない患者に対して『病気が少ないのはみんなが予防接種をして予防しているからで、自分自身と周りを守る上で予防接種の意義は大きい』と、その効果について伝える**必要がある」との意見がきかれています。
- ワクチン接種の問診で直接かかわる医師はもちろんのこと、そこに関わるコメディカルも同様にワクチンについて質問を受けることは多々ある。多々資料はあるが、あくまでポイントのみが書かれており、そのような状況下で具体的にどのようにコミュニケーションをとるのか、正解はないのが現実である。

予防接種

ワクチン(道具、手段)



安全に接種する(過程、道のり)



接種した本人および集団・地域を
感染症から守る(目的)

なぜ予防接種をするのか？！

第27回 日本ワクチン学会
第64回 日本臨床ウイルス学会
合同学術集会



Joint Meeting:
The 27th Annual Meeting of the Japanese Society for Vaccinology
The 64th Annual Meeting of the Japanese Society of Clinical Virology

過去をつむぎ、次世代へつなぐ
～さあ、みんなで、ふじをめざそう!～
Learn from the past and pass to the next generation;
Let's go for FUJI, the unexplored field.



会期 | 2023年10/21(土)、22(日) | 会場 | ホテルアソシア静岡 (静岡市葵区黒金町56)
会長名 | 中野 貴司 第27回日本ワクチン学会
川崎医科大学 小児科学 教授
田中 敏博 第64回日本臨床ウイルス学会
JA静岡厚生連 静岡厚生病院 小児科
運営 | 株式会社メセナフィールドアークス
事務局 | 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-9-2 都村ビル3F
TEL: 03-5651-7105 FAX: 03-5651-7106
E-mail: vac-cv2023@mccenat-net.co.jp
HP: https://www.vac-cv2023.jp/



Thank You !!

